

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○					○	○		○					○

企業の概要

企業・団体名	Nexus Bank株式会社	本社所在地	東京都
業種	分類不能の産業	総従業員数	15名
事業概要	Fintech事業、ITソリューション事業、その他		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規程
テレワーク担当部署	経営管理部
テレワーク対象者	全員
実施者数	15名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

【導入の経緯】

- 従業員の新型コロナウイルス感染リスクの軽減と事業持続性の確保を図るため

【目的】

- 従業員の新型コロナウイルス感染リスクの軽減
- オフィスコストの削減
- 従業員のワークバランスの向上
- 従業員の通勤にかかる負担の軽減

【導入時期】

- 2020年4月~テレワーク導入

テレワークの概要・特徴

- 都内感染者数の状況及び緊急事態宣言等に合わせ、週●日実施や毎週月曜は基本的に全員テレワーク実施、等、会社よりテレワーク実施を推奨し、部署内でテレワーク実施者の調整を行い、実施している
- テレワーク実施日は、当日の業務内容や昼食休憩取得時間を共有し、各種業務に支障が出ないよう工夫している
- Cloud Softphone (IP電話用アプリ)を活用し、個人電話料金に負担が無いようにし、外部との電話連絡にも対応している

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- コロナ禍でテレワークを実施することにより、従業員が「会社が従業員の安全、健康にも配慮している」と捉えている
- テレワーク実施日は、定時終了勤務をを推奨していることから、従業員のモチベーションが向上した。
- 有事の際でも、オフィスでなくても業務が行える仕組が整えられた(非常時の事業継続性の向上)
- オフィスコストの削減
- 毎週月曜日をテレワークデイ(全従業員テレワーク実施)とする事で作業効率の向上が見られた